惑星科学フロンティアセミナー 2007報告

玄田 英典1

1. はじめに

7月21日から24日にかけて、北海道虻田郡のニセコいこいの村にて、惑星科学フロンティアセミナー2007が開催されました。昨年復活したフロンティアセミナーですが[1]、今年も総勢57名(その内、院生と学部生は37名)という多くの方々が参加し、無時終了することができました。フロンティアセミナー実行委員会のメンバーであり、参加者であった執筆者から本セミナーの簡単な報告をいたします。

2. 今年のテーマと講演内容

今年のテーマは、「太陽系の起源と進化」というタイトルで北海道大学の圦本尚義氏に講演をしていただきました(図1). 時間の限られた学会発表や通常のセミナーなどでは到底話すことのできない基本的な事柄・詳細・秘話なども聞きたいという考えから、今年のフロンティアセミナーも、昨年と同様、集中講義形式で1人の方に講演を行っていただきました. 講演内容の主な章立ては以下のようなものでした.

1. 隕石についての基礎知識

- 2. 年代学の基礎知識
- 3. 改訂版太陽系年代学
- 4. 同位体顕微鏡をつくる
- 5. 酸素同位体の基礎知識
- 6. 太陽系物質大循環

講演は、22日と23日の丸2日間、計17時間行われました。それでも語りきれなかった部分については、飲み会でビール片手にインフォーマルな形で行われました。初日は、隕石の分類からはじまり、2000年に圦本氏が作成した太陽系形成の年表を2007年の最新版に改訂していくという形式で講演がなされました(図2:講演中の風景)。講演では、とても基本的な質問からマニアックな質問まで様々な質問が飛び交い、予定していた終了時刻を過ぎてしまうこともよくあり、温かい食事を用意してくださった宿の支配人に注意をされてしまうほどでした。

2日目は、同位体顕微鏡の1つであるSIMSの基本的な説明と開発秘話からはじまり、そのSIMSを使って明らかになってきた太陽系の酸素同位体異常について、詳しく講演をしていただきました。そして最終的には、それらの物質的な証拠から読み取った太陽系物質大循環について講演をしていただきました。初日同様、2日目も議論が白熱したため、急きょ夕食後にも講演が開かれました。ビール片手に浴衣姿で会議室に現れた

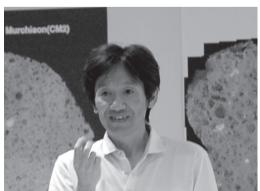


図1:講演していただいた圦本尚義氏.



図2:講演中の会議室の様子.

複数人の大人が、無言のプレッシャーを演者と聴衆に 与えていたのが印象的でした.

3. 最後に

夏の北海道というすばらしい環境と大変興味深い講演によって、今年のフロンティアセミナーも、大盛況の中、無事に終了しました(図3:集合写真). 長時間の講演をしてくださった圦本氏に深く感謝したいと思います. また、代表世話人のはしもとじょーじ氏と神

戸大と北大の学生スタッフのみなさまには、セミナー の準備段階と当日において多大な貢献をしていただい たことも大変感謝します.

なお、今年のフロンティアセミナーは、日本惑星科学および神戸大学21世紀COEプログラム「惑星系の起源と進化」との共催、および日本地球化学会からの後援を得て実現することができました。このような支援により、一部の学生への旅費の援助が可能となりました。大変ありがとうございました。

来年以降も、フロンティアセミナーはフロンティアセミナー実行委員のもと開催される予定です。来年の代表世話人には、東大の橘省吾氏がつとめてくださることが決定しています。今回参加された方もできなかった方も、皆様の次回の参加をお待ちしております。

参考文献

[1] 田中秀和, 2006, 遊星人, 15, 107.



図3:参加者の集合写真